

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年11月18日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年45週(11月07日～11月13日)

山梨県内流行情報

RSウイルス感染症が流行していますが、県全体の定点当たりの報告数は、横ばい状態です。また、流行性耳下腺炎が富士東部保健所管内で注意報となりました。マイコプラズマ肺炎が中北保健所管内及び峡東保健所管内で流行しています。流行性耳下腺炎の有効な予防方法は、ワクチンしかありませんが、RSウイルス感染症及びマイコプラズマ肺炎と同様に咳エチケットの励行、手洗い、うがいなどをおこないましょう。また、感染性胃腸炎については、富士・東部保健所管内で特に報告数が増えています。十分に加熱された食品の喫食、手洗いに心がけ、患者の嘔吐物や糞便を処理する際には、十分注意しましょう。

【今週の警報】:なし 【今週の注意報】:流行性耳下腺炎(富士・東部保健所管内)

富士・東部管内流行情報

流行性耳下腺炎が注意報入りしました。流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」とも言われ、3～6歳の小児に多く見られます。2～3週間の潜伏期を経て、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症で通常1～2週間で軽快します。感染経路は、接触あるいは飛沫であり、感染力はかなり強いと言われています。有効な予防はワクチンのみですが、マスクの着用や咳エチケット等の予防対策を徹底しましょう。

また、先週に引き続き感染性胃腸炎の報告数が増えています。感染性胃腸炎には手洗いが有効です。トイレの後や食事の前には2回洗い、爪の間や手首など洗い残しが無いよう十分注意しましょう。また、うがい・マスク着用を徹底し予防に努め、体調管理には留意しましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	4133	0.84	3774	1.19	873	0.28	6290	1.99	29613	9.37	1475	0.47
山梨県	12	0.29	35	1.46	13	0.54	36	1.5	145	6.04	7	0.29
中北	7	0.5	21	2.63	-	-	8	1	28	3.5	-	-
中北峡北	3	0.38	6	1.2	9	1.8	18	3.6	15	3	2	0.4
峡東	2	0.29	1	0.25	-	-	7	1.75	7	1.75	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4	-	-
富士・東部	-	-	7	1.4	4	0.8	3	0.6	87	17.4	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2319	0.73	301	0.1	1366	0.43	62	0.02	526	0.17	3367	1.07
山梨県	34	1.42	2	0.08	8	0.33	-	-	5	0.21	34	1.42
中北	11	1.38	2	0.25	3	0.38	-	-	4	0.5	9	1.13
中北峡北	18	3.6	-	-	1	0.2	-	-	-	-	7	1.4
峡東	1	0.25	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.8	-	-	3	0.6	-	-	1	0.2	18	3.6
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3	0	496	0.72	14	0.03	23	0.05	627	1.33	8	0.02
山梨県	-	-	4	0.44	1	0.1	1	0.1	19	1.9	-	-
中北	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	9	3	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	9	4.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	4	2	-	-	-	-	1	0.5	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	45週		44週		43週		42週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.29	12	0.22	9	0.15	6	0.07	3
RSウイルス感染症	やや増加しています	流行しています	1.46	35	1.33	32	1.92	46	2.79	67
咽頭結膜熱	やや減少しています	平年並みです	0.54	13	0.63	15	0.29	7	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.5	36	1.38	33	1.46	35	1.42	34
感染性胃腸炎	増加しています	たいへん流行しています	6.04	145	3.71	89	2.63	63	2	48
水痘	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.25	6	0.21	5	0.25	6
手足口病	横ばいです	平年並みです	1.42	34	1.25	30	0.96	23	0.83	20
伝染性紅斑	やや減少しています	平年並みです	0.08	2	0.17	4	0.04	1	0.08	2
突発性発疹	減少しています	平年並みです	0.33	8	0.54	13	0.46	11	0.33	8
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	横ばいです	平年並みです	0.21	5	0.25	6	0.33	8	0.17	4
流行性耳下腺炎	増加しています	たいへん流行しています	1.42	34	0.71	17	0.88	21	1	24
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.11	1	0.67	6	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	0.1	1	-	-	0.1	1	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.1	1	-	-	-	-	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	増加しています	平年よりも多い発生数です	1.9	19	1	10	1.7	17	0.9	9
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	中北	男	60